

週間漁海況情報 2026年第3号

令和8年1月20日発行

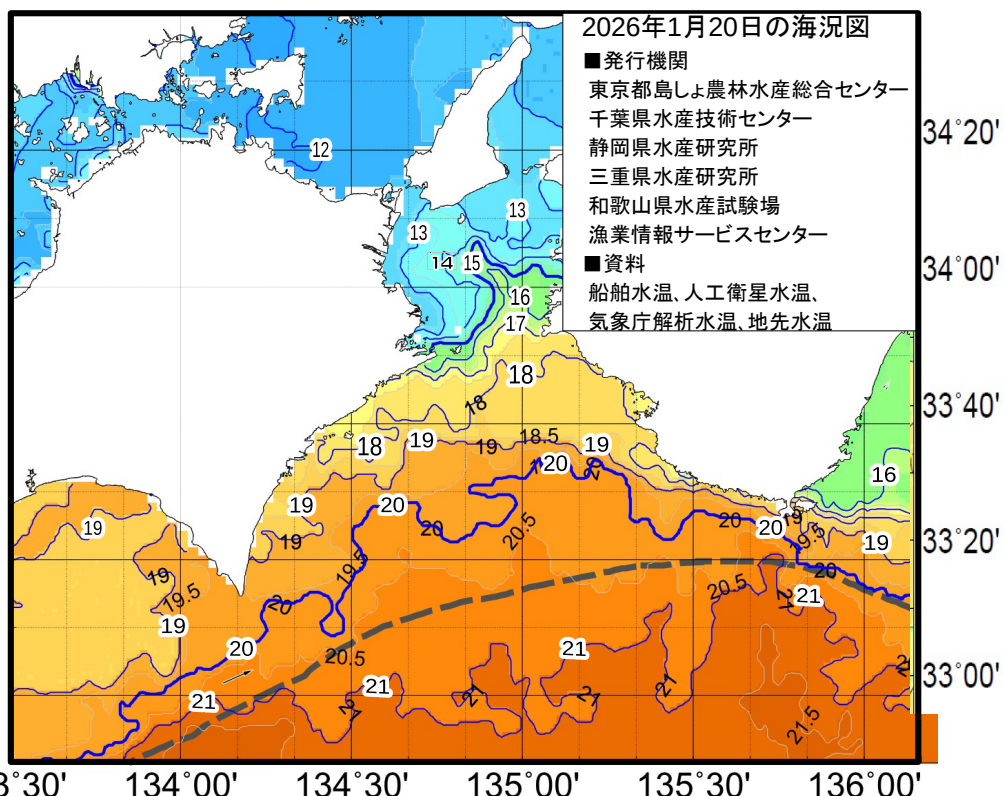
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で12、紀伊水道で12～16、海部沿岸で17～19℃台となっている。



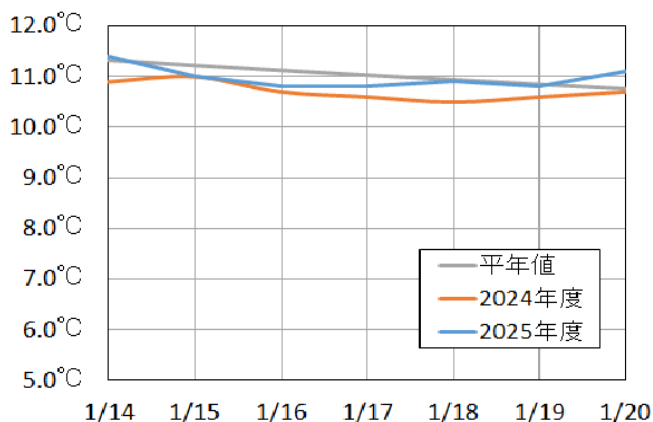
※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

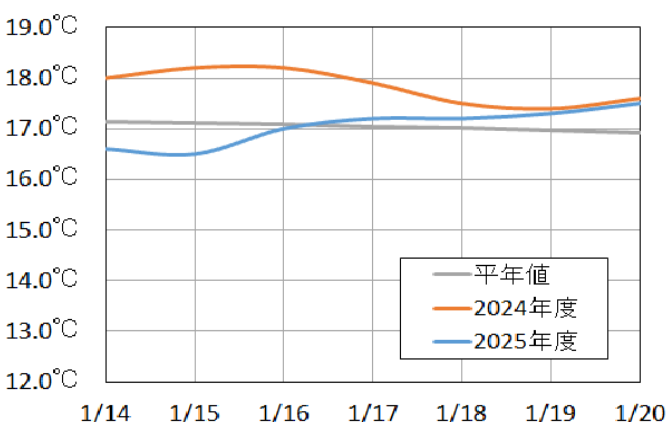
2. 地先水温(1月14日～1月20日)

鳴門地区の水温は、11.4～10.8℃で「平年並み」で推移。浅川地区は、16.5～17.5℃で「やや低め」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、5.2～6.5℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月21日～1月27日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、浅川地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況

(1月12日～1月18日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って11.7ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて大主体に1.1ト、あまだい類が1ト、

ブリが増えてめじろ級主体に0.4ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく増えて2.1ト、マダイが増えて0.8ト、

ハモが増えて中主体に0.4ト、モンゴウイカが大きく減って0.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.5ト、

メジナが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に4.4ト、

カワハギが大きく増えて大主体に0.7ト、ヒラメが増えて大主体に0.4ト、

マルアジが大きく増えて小主体に0.3ト、イシダイが大きく増えて0.3ト、

ウスバハギが増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

小型定置網では、アオリイカが小小主体に0.7ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	41	シラス	11,745	286		↘
	延縄	23	サワラ	1,104	48	大主体	↗↗
		74	あまだい類	960	13		→
		30	ブリ	356	12	めじろ級主体	↗
	底びき網	32	シリヤケイカ	2,114	66		↗↗
		24	マダイ	832	35		↗
		13	ハモ	435	33	中主体	↗
		21	モンゴウイカ	352	17		↘↘
	建網	55	カワハギ	505	9	大主体	↗↗
		53	メジナ	397	7		↗↗
	小型定置網	28	マアジ	4,441	159	豆あじ級主体	↗
		30	カワハギ	654	22	大主体	↗↗
		25	ヒラメ	358	14	大主体	↗
		15	マルアジ	321	21	小主体	↗↗
		23	イシダイ	305	13		↗↗
		16	ウスバハギ	300	19		↗
沿岸部	小型定置網	41	アオリイカ	705	17	小小主体	→

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘